



第19回いきいき大田写真コンクール応募作品 杉山穂子さんの「ヨーヨー釣り」

大田区基本構想審議会条例を可決

一般会計補正予算(第2次)を可決 7億7、705万2千円を増額

大田区議会は、平成19年第2回定例会を6月7日から18日までの12日間の会期で開きました。本会議第1日には区長あいさつの後、5名の議員が会派を代表して質問を行いました。第2日には12名の議員が一般質問を行いました。(2、3面に要旨を掲載)

権擁護委員候補者の推薦2件が提出され、審議の結果すべて原案どおり可決しました。また、議員提出議案として条例案1件と意見書2件が提出されましたが、条例案と意見書1件は賛成者少数で否決となりました。(4面に定例会で決まった議案を掲載)

この定例会には、平成19年度一般会計補正予算(第2次)のほか、大田区基本構想審議会条例をはじめとする条例案3件、工事請負契約4件、報告議案8件、消防ポンプの購入1件、人

件(4面に請願・陳情の結果を掲載) 皆様から提出された請願・陳情は関係委員会で審査した結果、採択2件、不採択6件、そのほかは継続審査となりました。

第2回定例会の内容

6月
7日 本会議(第1日)
8日 本会議(第2日)
11日 常任委員会
12日 常任委員会
13日 議会運営委員会
14日 特別委員会
18日 本会議(第3日)

第3回定例会の予定

9月
13日 本会議(第1日)
14日 本会議(第2日)
18日 常任委員会
19日 常任委員会
20日 議会運営委員会
21日 特別委員会
26日 本会議(第3日)
27日 委員会
28日 委員会
10月
1日 決算特別委員会
2日 決算特別委員会
3日 決算特別委員会
4日 決算特別委員会
5日 決算特別委員会
10日 本会議(第4日)

○請願・陳情の締め切りは、第1次分が9月6日(木)、第2次分が9月14日(金)の予定です。

区政60周年記念

第7回平和祈念コンサート



- 入場料(全席指定)
S席2,000円 A席1,500円
車椅子席あり(介添人は無料)。
詳細は大田区議会事務局まで
- チケット
大田区民ホールアプリコ
電話:5744-1600
大田区民プラザ
電話:3750-1611
大田文化の森
電話:3772-0700
実行委員会事務局
電話:5744-1480

- 出演 ・新垣勉(「さとうきび畑」、「干の風になって」他)
・チーム・アルフォンソ(近藤晃司 近藤真豊子)
(組曲「動物の謝肉祭」から、「チャールダッシュ」他)
・クラウン少女合唱団(「見上げてごらん夜の星を」他)
- 保育 無料保育あり(要予約)。詳細は大田区議会事務局まで(8月8日締切)
- 問合せ 大田区議会事務局 電話:5744-1472
区議会ホームページにも掲載しています。

主催●大田区議会全議員による
「平和祈念コンサート実行委員会」

区政を

代表質問

新しい時代にあつた区政運営を

自由民主党大田区議団 高瀬 三徳

〈新しい区政〉

①国際都市東京の玄関口である区を取り巻く状況をどう認識しているのか。

②産業空洞化で区内の工場数も半減したが、最近では生産現場の国内回帰も広がりつつあり、その好影響が区内産業にも及び始めていると考える。



ふるさとの浜辺公園

③区長の任期を3期までとした公約の条例化は考えているか。また3期の根拠は。④早い時期に条例化したいと考えている。10か年計画を評価し再構築するために3期12年とした。

〈羽田空港国際化〉

⑤空港の国際化、24時間化は区への存在感を示す千載一遇のチャンスと考えるがいかがか。

⑥区民の利益に寄与できるように最大限の努力を傾注する。

〈臨海部は人を引き寄せる魅力的空間に変えられると

⑦臨海部は人を引き寄せる魅力的空間に変えられると

〈区立施設建て替え〉

⑧小学校、保育園、図書館、出張所などの施設は今後20年程で建て替えが必要と考えるが経費を含めどう対処するのか。

〈効率的な建て替えや改修による延命処置等で行政執行に支障が出ないよう10か年計画で練っていく。〉

⑨放置自転車対策

⑩積極的に鉄道事業者に働

ご利用ください 会議録検索システム

区議会の会議録がインターネットを利用して検索、閲覧できます。

大田区議会ホームページアドレス
http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/

〈区の諸課題〉

福祉の財源確保のため産業振興を強力に支援

大田区議会公明党 高橋 博

〈区民生活の豊かにし、結果として税収を増やすことが自治体最大の使命と考えるが歳入増の具体的な方策は。〉

⑪解決すべき課題も多いが、将来に期待が持てる方向で検討する。

⑫税財政制度

⑬区民生活を豊かにし、結果として税収を増やすことが自治体最大の使命と考えるが歳入増の具体的な方策は。⑭産業振興の施策に地道に取り組むことが地域経済の活性化につながる歳入増に反映すると考える。

〈区立施設建て替え〉

⑮小学校、保育園、図書館、出張所などの施設は今後20年程で建て替えが必要と考えるが経費を含めどう対処するのか。

〈効率的な建て替えや改修による延命処置等で行政執行に支障が出ないよう10か年計画で練っていく。〉

⑯放置自転車対策

⑰積極的に鉄道事業者に働

〈顧客ニーズを的確につか

⑱国々の教育改革を踏まえ、平成20年度中に区の今後の教育のあり方を明らかにする。

〈大田の教育施策〉

⑲国々の教育改革を踏まえ、平成20年度中に区の今後の教育のあり方を明らかにする。

〈大田の教育施策〉

⑳国々の教育改革を踏まえ、平成20年度中に区の今後の教育のあり方を明らかにする。

〈大田の教育施策〉

㉑国々の教育改革を踏まえ、平成20年度中に区の今後の教育のあり方を明らかにする。

〈大田の教育施策〉

㉒国々の教育改革を踏まえ、平成20年度中に区の今後の教育のあり方を明らかにする。

増税から住民が主人公のくらし応援の区政に

日本共産党大田区議団 大竹 辰治

〈今後の区政運営で〉

㉓区民への負担増となる住民税増税に対し、自治体独自の対策を求め。

㉔区独自の軽減策を行うことは考えていない。

〈各種控除や住民税減免制度を区報等あらゆる方法で住民への周知徹底を求め。〉

㉕様々な機会でお知らせしており今後も努力する。

㉖住民税の通知送付に伴う区民からの問い合わせに対応するため特別な窓口を。

〈6月11日から15日は夜7時までの特別体制を組む。〉

㉗3月末592世帯に発行の国保資格証は機械的交付をやめ実情に即した対応を。⑳場合により資格証の交付も止むを得ないと考える。

〈「民営化万能論」神話が崩れてきている中で、福祉や教育部門を含め、民営化路線からの変更を求め。〉

㉘そのような考えは持っていない。

㉙「住民の福祉の増進を図る」という自治体本来の使命を基本にし、住民本位で効果的な新しい10か年計画

〈「今後の区政運営で」

㉚区民への負担増となる住民税増税に対し、自治体独自の対策を求め。

〈区独自の軽減策を行うことは考えていない。〉

㉛各種控除や住民税減免制度を区報等あらゆる方法で住民への周知徹底を求め。

〈様々な機会でお知らせしており今後も努力する。〉

㉜住民税の通知送付に伴う区民からの問い合わせに対応するため特別な窓口を。

〈6月11日から15日は夜7時までの特別体制を組む。〉

㉝3月末592世帯に発行の国保資格証は機械的交付をやめ実情に即した対応を。

〈場合により資格証の交付も止むを得ないと考える。〉

㉞「民営化万能論」神話が崩れてきている中で、福祉や教育部門を含め、民営化路線からの変更を求め。

〈そのような考えは持っていない。〉

㉟「住民の福祉の増進を図る」という自治体本来の使命を基本にし、住民本位で効果的な新しい10か年計画

㊱待機者解消策を伺う。

㊲地域密着型サービスとの兼ね合いで検討する。

〈産業政策〉

㊳街路灯の予算が減少しているがどう考えるか。

㊴昨年度を踏まえ計上した。

〈図書館運営〉

㊵開館時間を延長しては。⑳課題もあるが研究する。

〈インターネットでの図書検索システムを導入すべき。〉

㊶導入に向け検討している。

㊷特別養護老人ホーム

㊸介護報酬不正防止体制は。㊹厳重にチェックしている。

〈仮称大森北一開発計画〉

㊺「開発対策特別委員会」は仮称大森北一開発計画が調査項目である。夢のある種地としての現状を伺う。

㊻中心核大森のまちづくりの一環として位置付け、委員会の議論を踏まえ最適な方法でにぎわいと活力あるまちづくりを目指す。

〈商店街、産業の活性化〉

㊼職員が商工業者を訪問し、生の声を聞くことで何かが変わらぬと思うかがか。

㊽商工業者の生の声と行政情報の提供から真の課題が見え、適切な施策を講じることができると考える。

〈区職員の区内商店での買物奨励について伺う。〉

㊾おりにふれ商店街振興の必要性等を説明し、区内商店街での買物を奨励する。

〈防災対策〉

㊿消防団の資材庫、トイレ、活動拠点等を充実すべき。

㊽団の要望は都に伝える。

〈生活習慣病対策〉

㊾メタボリックシンドロームに着目した特定健診と特定保健指導の内容を伺う。

㊿生活習慣病予防の新制度で内臓脂肪症候群の解消を目的とし、高血糖や脂質異常等の検査と腹囲測定等を行う。特定保健指導の実施方法等は検討中である。

〈区民との対話を重視する区政運営とは

㊿「区民の言う」「区民との対話を重視する」とは。

㊽パブリックコメント制度

〈蒲蒲線整備計画〉

㊿既存の東急線と京急線を直接つなげば、より安く利



区立図書館

大田区の産業・保健福祉等の諸課題と対応を問う

ネット・無所属・自由連合 荒木 秀樹

〈仮称大森北一開発計画〉

㊿「開発対策特別委員会」は仮称大森北一開発計画が調査項目である。夢のある種地としての現状を伺う。

㊻中心核大森のまちづくりの一環として位置付け、委員会の議論を踏まえ最適な方法でにぎわいと活力あるまちづくりを目指す。

〈商店街、産業の活性化〉

㊼職員が商工業者を訪問し、生の声を聞くことで何かが変わらぬと思うかがか。

㊽商工業者の生の声と行政情報の提供から真の課題が見え、適切な施策を講じることができると考える。

〈区職員の区内商店での買物奨励について伺う。〉

㊾おりにふれ商店街振興の必要性等を説明し、区内商店街での買物を奨励する。

〈防災対策〉

㊿消防団の資材庫、トイレ、活動拠点等を充実すべき。

㊽団の要望は都に伝える。

〈生活習慣病対策〉

㊾メタボリックシンドロームに着目した特定健診と特定保健指導の内容を伺う。

㊿生活習慣病予防の新制度で内臓脂肪症候群の解消を目的とし、高血糖や脂質異常等の検査と腹囲測定等を行う。特定保健指導の実施方法等は検討中である。



大森北1丁目開発計画用地



羽田空港

一般質問

大田区議会公明党
勝亦 聡

〈医療費負担軽減策〉

◎認定証による医療費負担軽減制度を区独自で通院医療費にも適用できないか。

◎継続的に高額な通院医療費が必要な方は、高額療養費負担制度でお預かりしたい。

〈妊婦健診の公費負担〉

◎公費負担の妊婦健診を5回以上にできないか。

◎関係機関で健診回数等を検討しており、その結果を踏まえた実施を考えている。

〈総合体育館基本計画〉

◎温水プール等の設置計画はあるか。設置困難ならば民間施設と契約を結び低料金で利用できる制度新設を。

◎計画敷地、コスト面から困難である。民間への補助等は慎重にすべきと考える。

大田区議会公明党
岡元 由美

〈コミュニティバス導入〉

◎区民の自由な発想、民間の知恵が必要ではないか。

◎課題はあるが、バスを必要とする区民と協働して実現を図りたい。

〈食育の推進〉

◎都に対し栄養教諭配置の働きかけはしているか。

◎学校栄養職員を全校配置を優先すべき課題ととらえ実現を強く要望している。

◎文化センターでの調理教室への参加や、近隣空き地を利用しての農作業体験を希望しているか。

◎行事に参加し、地域とのつながりを深めることは好ましいと考える。空き地の活用は学校や地域の実情を踏まえ対応する。

大田区議会公明党
古山 昌子

◎区長の考える理想のリーダー像は。

◎織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の3人それぞれの長所をミックスし、状況に合わせ最適なリーダーシップを発揮したいと考える。

◎社会保険労務士による年金相談窓口の回数、時間を拡大してほしい。

◎前向きに検討する。

◎新婚世帯や子育て世代に対し家賃助成を検討してほしいかがか。

◎事例を調査しつつ、今後の検討課題とする。

◎シルバードピアの増設にあたり、高齢者に加えファミリー世帯も入居でき、世代間の交流ができる共生住宅タイプも検討してほしい。

◎敷地の問題もあるが、重要な課題と考え検討する。

◎平成21年度に廃園になる区立幼稚園を認定こども園にする考えはあるか。

◎廃園後もこども関連施設として活用を考えている。

◎女性の視点という観点から「女将さん」を視野に入れた商店街活性化策に取り組んでほしいかがか。

◎大田区商連女性部の活動経費一部助成など支援する。

社会民主党・大田区民の会
西村 健志郎

◎温室効果ガス抑止計画は。平成2年度比17%増に対し同比6%減を24年度達成。

◎介護士や看護師の雇用と労働条件改善への支援を。

◎国や都の動向踏まえ対応。保育料増に対する支援を。税負担増の影響を踏まえ、徴収基準や階層を検討する。

自由民主党大田区議団
湯本 良太郎

◎図書館検索システム。インターネット検索システム導入の考えはあるか。

◎平成20年4月の導入に向け検討している。

◎学校図書整備事業。本棚の修理は学校の予算ではなく、教育委員会で手当てすべきと考えるが。

◎状況を把握し適切に対応する。

◎図書の購入は要望があればリスト外からも可能か。

◎学校図書館運営委員会に要望のあったものは適否を判断しリストに加えている。

◎教育現場の諸問題。教育活動の理解を深めるための取り組みを向う。

◎保護者と連絡を密にし、共通理解を図りながら指導することが重要と考える。

◎私立中学校への進学率が年々増加している現状をどう考えるか。

◎よりよい公教育のために生徒指導の充実と学力の向上が責務と考え努力する。

◎総合体育館の建設。設計はアイデアをいくつか募集するコンペ方式で進

めてはどうか。

◎コンペは時間的に厳しいが、議会での議論を踏まえ設計を進めていく。

自由民主党大田区議団
押見 隆太

◎空港跡地問題。民間と相互協力での第二のお台場や、ラスベガスのような世界に誇れる観光都市をつくらせてほしいかがか。

◎既存の観光資源に磨きをかけ、訪れてみたいくなるような個性と魅力ある商店街、まちを創造していく。区民の方々が集い、楽しみ、また、産業や商業の面でも仕事につながるようになっていくようなイメージを描いている。

◎東急線の利便性向上。区内の東急線の駅にAEDの設置が少ないがどう考えるか。

◎今後順次設置する方針と聞いている。

◎千鳥町駅改札口の屋根を1メートル延ばせないか。

◎東急電鉄に要請する。

自由民主党大田区議団
安藤 充

◎空港跡地の利用計画。利用計画はどのような視点で取りまとめるのか。

◎「空港を活かす」「空港と連携する」「周辺と調和する」という視点で臨む。

◎跡地の利用活用にあたっては過去の歴史的経過を踏まえ、強制立ち退きのあった住民に配慮した内容にしてほしいかがか。

◎そのように考える。

◎跡地を利用し、蒲田、大森を通る区民マラソンを検

討してほしい。

◎多方面な視点から研究し、実現の可否を検討する。

◎空港の諸問題。航空保安大学の関西空港移転に伴い、影響を受ける飲食店に対する対策は考

えているか。

◎現状の把握と経緯を見て商店等からの相談にのる。

◎環八の沿道整備の助成金を羽田地区に適用することは可能か。

◎都に働きかける。

◎区役所1階にある空港内の模型や沖合い展開事業で処分された羽田沖の灯台の再現等を保存できる施設の建設を希望するかがか。

◎関係者の要望を聞き検討する。

自由民主党大田区議団
大森 昭彦

◎選挙運動ポスター。告示後もはがされずに残っているものは違反では。

◎公選法で規制している。

◎ポスターに関する苦情、相談はどのくらいあったか。

◎相当数の苦情があった。

◎ポスター掲示自粛に取り組んでいる自治体はあるか。

◎過去に数回の議会が自粛の決議を行っている。

◎街の意見を聞き検討する。

◎駅前広場や歩道再整備を。検討を始めている。

◎駅周辺の活性化を図るために何が重要と考えるか。

◎商業振興策や都市機能整備が重要と考える。

◎駅周辺の建て替え支援は。助成金の活用方法を探る。

◎区内商業者への対策は。新たな支援も検討する。

◎まちづくり構想の策定を。大田区基本構想、基本計画で蒲田の将来像を見直す。

◎後期高齢者医療制度。制度は大変問題が多い。全面見直しを広域連合に強く求める考えはあるか。

◎平成20年4月から始まる新しい制度であり、問題点を整理し、良い内容でスタートできるように努力する。

◎保険料が払えない場合、国保のような資格証が発行されるのか。

◎広域連合では、一律発行でなく、様々なケースを想定し、慎重に対応する方向で検討中と聞いている。

◎介護保険制度。制度改正で福祉ベッドを利用できなくなった方の実態を調査し、実態に見合った助成をすべき。

◎医師が必要性を確認すれば貸与可能になったため、区独自助成は考えていない。

◎住民税増税で保険料が大幅増となる1・2号被保険者に対し助成制度を求める。

◎所得に応じた段階設定等を実施しており、新たな施策は考えていない。

◎特養待機者解消のため、早急に実態に見合ったホームの建設計画を立てるべき。

◎民間事業者の動向、さらに都の計画や補助制度等を含めて検討する。

大田区議会民主党
黒川 仁

◎区民対話について。区長の言う「対話重視」とはどのようなものか向う。

◎広く区民の意見、提案を頂きサービスに反映させる。

◎福祉施策について。障害者を持つみなさんが安心して住み続けていくことのできるまちにします」という区長の決意を聞かせていただきたい。

◎区政における重要課題として取り組みを進める。

◎障害者自立支援法の負担軽減策として他に事業を考えているのか。

◎障害者の置かれた状況と実態等を十分に見極めたい。

大田区議会民主党
柳ヶ瀬 裕文

◎大田区の魅力発信。大田のものづくりをシンボルにして発信せよ。

◎技術の高い製品が、区のPRに役立つと考える。

◎団塊世代のリタイアで文化活動全般に需要が高まるが区施設の受け入れ体制は。団塊世代の協働に果たす役割は大きい。区施設で対応は可能と判断している。


◎子ども主体の教育環境。区立小のトイレを子ども

の生活様式に沿った設置に。半数を洋式に切り替える。

◎大田区議会民主党。福祉施策について。障害者を持つみなさんが安心して住み続けていくことのできるまちにします」という区長の決意を聞かせていただきたい。

◎区政における重要課題として取り組みを進める。

ご覧ください
本会議インターネット中継



本会議の録画映像をインターネットでご覧いただけます。
また、本会議を録画したビデオテープの視聴も受け付けていますので、ご利用ください。

大田区議会ホームページアドレス
<http://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>

定例会で決まった議案

○は全会一致の議案
 △は賛成者多数の議案（各会派の態度は表のとおり）

区長提出議案

平成19年度補正予算

○一般会計（第2次）
 （7億7,705万2千円を増額する。）

○大田区田園調布二丁目付目付近枝線その4工事（下水道）

条例の制定

○大田区基本構想審議会案例
 （基本構想、基本計画策定のため審議会を設置する。）

条例の一部改正

○大田区手数料条例
 （開発行為許可申請手数料等を改定する。）

○大田区営住宅条例
 （区営中央四丁目アパートを廃止する。）

▼工事請負契約

○大田区画街路第1号線整備工事（駅前広場及び街

路整備、電線共同溝整備）
 （契約金額1億7,850万円、契約の相手方、北信・伊藤建設工事共同企業体）

▼購入

○市民消防隊可搬式消防ポンプ（C-1級）
 （契約金額2,306万3,250円、契約の相手方、東京物産株式会社）

報告

▼繰越明許費

・平成18年度繰越計算書

▼区が出資する法人の経営状況に関する書類

・大田区土地開発公社

・財団法人大田区文化振興協会

・財団法人大田区産業振興協会

・財団法人大田区体育協会

・蒲田開発事業株式会社

・財団法人大田区体育協会

▼区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分

報告のみのもの

・防災課所属有車による交通事故（賠償金額58万9,072円）

・ごみ収集作業中における物損事故（同10万2,375円）

・道路パトロール車による損傷事故（同5万4,072円）

・支払遅延による損害金の発生事故（同700円）

・放置自転車対策指導中における負傷事故（同1万1,474円）

・区道における負傷事故（同7,350円）

・区立中学校における負傷

意見が異なった議案に対する各会派の態度

○：賛成 ×：反対

件名	会派名						結果
	自由民主党 大田区議団	大田区議会 公明党	日本共産党 大田区議団	大田区議会 民主党	ネット・無所属・自由連合	大田区議会 緑の党	
仮称洗足小池公園整備工事（基盤整備）請負契約について	○	○	○	○	○ ² × ¹	○	可決
大田区痛みやわらげ手当支給に関する条例（議員提出）	×	×	○	退席	×	○	否決
「東京富裕論」に対する意見書	○	○	×	○	○	○	可決
地方税財源制度の確立に関する意見書	×	×	○	×	×	○	否決

「東京富裕論」に対する意見書

国は、経済財政諮問会議をはじめ様々な検討機関において、地方税の偏在という表面的な概念を「東京富裕論」という言葉に矮小化し、ことさら地方対東京の構図を作り出している。

こうした論調は、特別区が日本経済の一端を担うために積極的な産業政策や都市基盤づくりを進め、その結果、民間事業者の本社や中枢機能の集積が生まれ、日本経済をけん引してきた経緯を忘れた空虚な議論である。

今後も、特別区は、日本の活力を維持・発展させていくために、他府県と比べ高額な用地取得費等を負担しながら、都市基盤、産業基盤づくりをさらに進め、加えて、区民のセーフティネットである生活保護や介護・福祉等の膨大な行政需要にも対応していかなければならない。

また、大田区だけを見ても、羽田空港の国際化に伴う交通渋滞対策や大規模災害対策のほか、感染症対策など、他の都市には見られない高度で特異な行政課題が多く存在している。

国においては、こうした特別区特有の行政課題をしっかりと認識し、国と地方の役割を明確化した上で、国から地方への実質的な権限と財源を移譲する真の地方分権改革を積極的に進めるべきである。

よって、大田区議会は、国会及び政府に対し、「ふるさと納税」に代表される「東京富裕論」など、地方自治の本質を見失った観点からの税財政制度の見直しを行わないよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成19年6月18日

大田区議会議長名

衆議院議長
 参議院議長
 内閣総理大臣
 総務大臣
 財務大臣
 経済産業大臣
 経済財政政策担当大臣 あて

請願・陳情の結果

今定例会で新規に提出されたものを掲載しています。かつこ内は審査結果です。

▼総務財政委員会

・都営地下鉄西馬込車両工場跡地に公共スペースを設けることに関する陳情（継続）

▼生活産業委員会

・蒲田地区に映画館を復活」に関する陳情（不採扱）

・大田区で取得した尾崎士郎旧宅の有意義な活用に

関する陳情（採扱）

・健康福祉委員会

・肺炎球菌予防接種の助成に関する陳情（継続）

・視力障害者の移動介護に関する陳情（継続）

・「妊婦健康審査」について公費負担の拡充を求める陳情（継続）

・2008年度予算編成に関する陳情（継続）

▼都市整備委員会

・大田区蒲田4丁目歩道橋の撤去に関する陳情（採扱）

・田園調布4丁目地域に児童公園の新設を求める陳情（継続）

・補助44号道路計画の見直しに関する陳情（継続）

・平和島駅構内にトイレとエレベーターの設置を求める陳情（継続）

・たばこ喫煙所の新設を求める陳情（継続）

・雑色駅周辺に駐輪場設置を求める陳情（継続）

▼子ども文教委員会

・学童保育の時間延長に関する陳情（継続）

・田園調布4丁目地域に保育園の建設を求める陳情（不採扱）

・田園調布4丁目地域に児童館の建設を求める陳情（継続）

・田園調布4丁目地域に児童館の建設を求める陳情（継続）

・田園調布4丁目地域に児童館の建設を求める陳情（継続）

・田園調布4丁目地域に児童館の建設を求める陳情（継続）

・田園調布4丁目地域に児童館の建設を求める陳情（継続）

・田園調布4丁目地域に児童館の建設を求める陳情（継続）

・田園調布4丁目地域に児童館の建設を求める陳情（継続）

・田園調布4丁目地域に児童館の建設を求める陳情（継続）

・田園調布4丁目地域に児童館の建設を求める陳情（継続）

・田園調布4丁目地域に児童館の建設を求める陳情（継続）

・田園調布4丁目地域に児童館の建設を求める陳情（継続）

・田園調布4丁目地域に児童館の建設を求める陳情（継続）

・田園調布4丁目地域に児童館の建設を求める陳情（継続）

・田園調布4丁目地域に児童館の建設を求める陳情（継続）

・田園調布4丁目地域に児童館の建設を求める陳情（継続）

請願・陳情はどなたでも出せます

大田区議会議長 〇〇〇 様 へ

請願書（陳情書）

住所 〇〇〇 〇〇 〇〇

氏名 〇〇 〇〇 〇〇

電話番号 〇〇〇〇 〇〇〇〇

所属議員（陳情には不要）

〇〇〇〇に属する請願（陳情）

請願（陳情）の趣旨

理由

- 1 請願には議員1名以上の紹介が必要です。議員の紹介がない場合は陳情として取り扱います。
- 2 請願・陳情の趣旨は、簡潔、明りょうに書き、内容が数種類に及ぶ場合には、それぞれ別の請願・陳情に分けてください。
- 3 請願・陳情者の押印が必要です。住所、氏名は原則として公開となります。
- 4 署名簿がある場合は、請願・陳情の後につけてください。
- 5 大田区議会は、原則として請願と陳情を同一に取り扱っています。
- 6 受付は、土、日、休日を除く平日の午前8時30分から午後5時まで、区役所本庁舎10階の議会事務局で行っています。

陳情書を提出される方へ

- 1 次にご覧の陳情書は審査されたい場合があります。
- 2 著しく個人、団体をひぼう中傷し、名誉棄損、信用失墜のおそれがあるもの
- 3 脅迫、恐喝等、公序良俗に反する用語の使用があるもの
- 4 郵送されたもの
- 5 住所、連絡先が不十分で連絡のとれないもの
- 6 同一期内で概ね一年を経過していない趣旨のもの
- 7 マンション紛争等「私人」間で解決すべき内容を含むもの
- 8 既に願意が達成されていると思われるもの
- 9 その他議長が審査になじまないと判断したもの
- 10 詳しくは議会事務局にお問い合わせください。